

# 産婦人科 *Obstetrics and Gynecology*

## 1. スタッフ構成

○近藤 裕司(総合周産期母子医療センター長、医療安全管理部長)

1987年岡山大学医学部卒

専門分野:周産期医学、婦人科手術

資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、母体保護法指定医、厚生労働省臨床研修指導医

○阿部 恵美子(主任部長、総合周産期母子医療センター副センター長)

1993年愛媛大学医学部卒

専門分野:周産期医学、婦人科手術

資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)・周産期専門医(母体・胎児)指導医、臨床遺伝専門医制度委員会臨床遺伝専門医、日本女性医学学会女性ヘルスケア暫定指導医、母体保護法指定医、厚生労働省臨床研修指導医

○森 美妃(部長)

2004年高知医科大学卒

専門分野:周産期医学、婦人科手術

資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)・周産期専門医(母体・胎児)指導医、日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医、母体保護法指定医、厚生労働省臨床研修指導医

○田中 寛希(部長)

2004年愛媛大学医学部卒

専門分野:産婦人科一般、内視鏡手術

資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医、日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、母体保護法指定医、厚生労働省臨床研修指導医

○池田 朋子(部長)

2005年愛媛大学医学部卒

専門分野:周産期医学、婦人科手術

資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)・周産期専門医(母体・胎児)指導医、臨床遺伝専門医制度委員会臨床遺伝専門医、母体保護法指定医、厚生労働省臨床研修指導医

○上野 愛実(医長)

2014年愛媛大学医学部卒

専門分野:産婦人科一般

資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医、厚生労働省臨床研修指導医

○井上 翔太(医長)

2016年愛媛大学医学部卒

専門分野:産婦人科一般

資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医

○大木 悠司(医長)

2016年琉球大学医学部卒

専門分野:産婦人科一般

資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医

○横畑 理美(医長)

2016年高知大学医学部卒

専門分野:産婦人科一般

資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医

○伊藤 恭(産婦人科専門研修プログラム専攻医)

2019年愛媛大学医学部卒

専門分野:産婦人科一般

○城戸 香乃(産婦人科専門研修プログラム専攻医)

2021年愛媛大学医学部卒

専門分野:産婦人科一般

○鎌倉 百合(診療委託)

○福岡 真弓(診療委託)

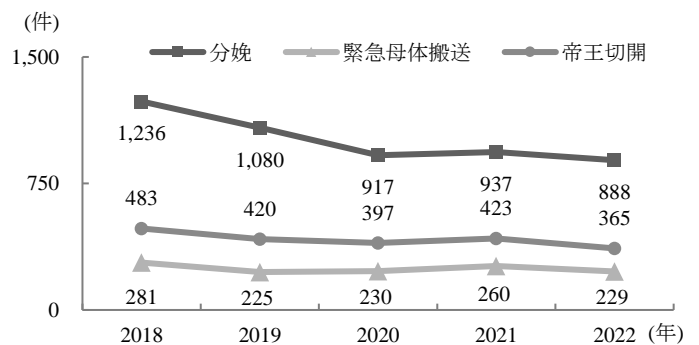
○今井 統(診療委託)

## 2. 実績

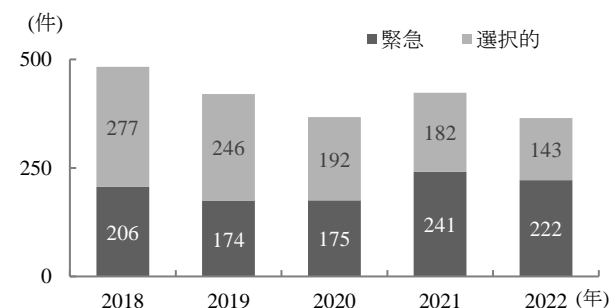
12週以降の分娩数は888件でした。県内の出生数は全国的な傾向と一致しCOVID-19の影響もあり減少が顕著になり、当センターもその影響を受け減少したものと考えられます。当センターは県内全域から多くの母体搬送を受け入れているため、緊急母体搬送数は229件でした。

### ■ 分娩数・緊急母体搬送数・多胎妊娠数の推移

帝王切開については、帝王切開数は365件、うち緊急帝王切開数は222件、選択的帝王切開数は143件でした。



### ■ 帝王切開数の推移および内訳

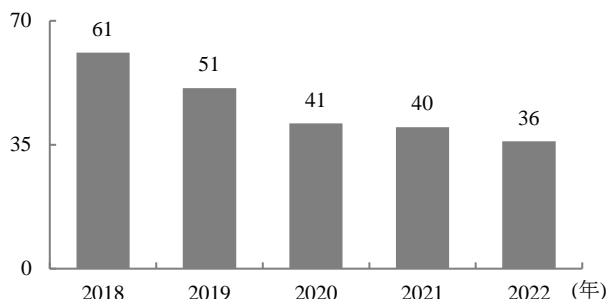


当センターでは新生児内科、麻酔科等関係各科と良好な連携のもと、迅速な帝王切開を提供できています。また三次救急とも連携して、母体救命が必要な合併症妊婦についても、母体救命対応総合周産期母子医療センターとしての機能を果たしています。

多胎妊娠は36件でした。

#### ■ 多胎妊娠の推移

(件)



婦人科手術では良性疾患の腹腔鏡下手術を中心とした内視鏡下手術を行っており、腹腔鏡下手術など178件を施行しています。また、ロボット手術の導入も開始し、子宮鏡下手術は28件施行しました。これらの低侵襲手術により在院日数の短縮に貢献しています。

#### ■ 疾患別入院患者数

疾患名(ICD10準拠)	患者数
O14 妊娠高血圧症候群	63
O20 切迫流産	10
O32 骨盤位	24
O33 児頭骨盤不均衡	4
O34 既往帝切後妊娠	85
O36 子宮内胎児発育不全	22
O42 前期破水	111
O44 前置胎盤	15
O47 切迫早産	165
O48 分娩予定日超過	18
O66 分娩停止	49
O68 胎児機能不全	69
O72 弛緩出血	6
C549 子宮体癌	3
C56 卵巣癌	11
D25 子宮筋腫	132
D39 卵巣腫瘍	80

#### ■ 手術件数

手術名	症例数
腹腔鏡下手術	178
子宮鏡下手術	28
子宮全摘術(腹・腔式)	39
開腹付属器手術	13
子宮脱手術	10
緊急帝王切開術	222
予定帝王切開術	143
円錐切除術	9
ロボット手術	1

### 3. 2023年度目標

当科は、愛媛大学医学部附属病院や松山赤十字病院からも搬送を受けるなど、多くの重症なハイリスク妊娠分娩を取り扱うため、新生児内科、小児外科とのカンファレンス等を通してさらに連携を強め、より高度で安全な妊娠分娩管理を実施していきたいと考えます。

病診連携の推進については、紹介率および逆紹介率をさらに高めるよう努めることを目標としました。

近年の産科入院患者の増加に対して、病床の問題に十分配慮し、経陰分娩後1日、緊急帝王切開後2日での紹介元への逆搬送の実施等で病床利用に配慮し、病床利用効率の向上に貢献していきたいと考えています。また、病床が不足した場合の他病床への患者さんの転床にあたっては、産科病床選択や転床時の説明等に十分な配慮を行うようにします。これらによって母体搬送の受け入れ要請については全例対応できるよう配慮していきます。

婦人科では、夜間でも十分な手術実績のある医師が手術に入るようにし、安全な手術治療の提供に配慮していきます。

### 4. 学術関係

#### (1) 学会発表および講演

- 行元志門、森美妃、市川瑠里子、伊藤恭、丹下景子、阿南春分、池田朋子、田中寛希、阿部恵美子、近藤裕司。妊娠中の著明な下腿浮腫と重度の低K血症との関連性。第9回愛媛県周産期症例検討会。Web開催(2022.2.17)
- 市川瑠里子、池田朋子、伊藤恭、丹下景子、行元志門、阿南春分、田中寛希、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司。陣発入院時におけるCTG異常。第9回愛媛県周産期症例検討会。Web開催(2022.2.17)
- 市川瑠里子、阿部恵美子、島瀬奈津子、井上奈美、丹下景子、行元志門、上野愛実、池田朋子、田中寛希、森美妃、近藤裕司。当院における未受診妊婦の現状。第72回愛媛県産婦人科医学会学術集談会。松山・Web開催(2022.5.21)
- 島瀬奈津子、池田朋子、市川瑠里子、井上奈美、丹下景子、行元志門、上野愛実、田中寛希、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司。嵌頓子宮の3例。第72回愛媛県産婦人科医学会学術集談会。松山・Web開催(2022.5.21)
- 井上奈美、田中寛希、島瀬奈津子、市川瑠里子、丹下景子、行元志門、上野愛実、池田朋子、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司。腹腔鏡下子宮頸部筋腫核出術にて縫合方法を工夫した1例。第72回愛媛県産婦人科医学会学術集談会。松山・Web開催(2022.5.21)
- 市川瑠里子、阿部恵美子、島瀬奈津子、井上奈美、丹下景子、行元志門、上野愛実、池田朋子、田中寛希、森美妃、近藤裕司。当院における未受診妊婦についての検討。第25回愛媛県周産期医療研究会。松山・Web開催(2022.6.11)
- 阿部恵美子、池田朋子、森美妃、近藤裕司。当院での新型コロナウイルス感染妊婦の対応。第58回日本周産期・新生児医学会学術集会。横浜・Web開催(2022.7.10-12)
- 森美妃、池田朋子、阿部恵美子、近藤裕司。当院で管理を行った品胎妊娠の検討。第58回日本周産期・新生児医学会学術集会。横浜・Web開催(2022.7.10-12)
- 池田朋子、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司。当院で経験した嵌頓子宮の3例。第58回日本周産期・新生児医学会学術集会。横浜・Web開催(2022.7.10-12)
- 市川瑠里子、田中寛希、島瀬奈津子、井上奈美、丹下景子、行元志門、上野愛実、池田朋子、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司。生体腎移植後に腹腔鏡下子宮全摘術を行った1例。第62回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会。横浜・Web開催(2022.9.8-10)
- 丹下景子、森美妃、島瀬奈津子、市川瑠里子、井上奈美、行元志門、上野愛実、池田朋子、田中寛希、阿部恵美子、近藤裕司。当院での腹腔鏡下子宮筋腫核出術におけるin-bag morcellationの検討。第62回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会。横浜・Web開催(2022.9.8-10)
- 丹下景子、森美妃、島瀬奈津子、市川瑠里子、井上奈美、行元志門、横畑理美、上野愛実、池田朋子、田中寛希、阿部恵美子、近藤裕司。当院

- での腹腔鏡下子宮筋腫核出術における in-bag morcellation の検討. 第 27 回四国産婦人科内視鏡手術研究会. 松山 (2022.10.8-9)
13. 上野愛実. 腹腔鏡技術認定医に向けての傾向と対策 2022. 第 2 回愛媛県産婦人科内視鏡研究会. Web 開催 (2022.11.25)
  14. 島瀬奈津子、阿部恵美子、井上奈美、丹下景子、行元志門、横畑理美、上野愛実、池田朋子、田中寛希、森美妃、近藤裕司. 母体バセドウ病に合併した胎児甲状腺腫に対し、超音波検査を用いた甲状腺機能スコアリングシステムにより甲状腺機能評価を行い胎児治療を行った一例. 第 73 回愛媛県産婦人科医会学術集談会. 松山 (2022.12.10)
  15. 井上奈美、田中寛希、島瀬奈津子、丹下景子、行元志門、横畑理美、上野愛実、池田朋子、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司. 当院での過去 5 年間における retained products of conception(RPOC)の管理方法についての検討. 第 73 回愛媛県産婦人科医会学術集談会. 松山 (2022.12.10)

## (2) 論文・著書

1. 島瀬奈津子、池田朋子、市川瑠里子、伊藤恭、丹下景子、行元志門、今井統、阿南春分、田中寛希、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司. 脳出血合併妊娠の 3 例. 現代産婦人科 第 70 巻(2 号). 425-429 (2022.6)
2. 市川瑠里子、田中寛希、伊藤恭、丹下景子、行元志門、今井統、阿南春分、池田朋子、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司. 生体腎移植後患者に対して腹腔鏡下子宮全摘出術を行った 1 例. 現代産婦人科 第 70 巻(2 号). 431-435 (2022.6)